

Aga-zine

アガジン

2022
8.15

aga-zine





P3

富坂の売れた日のためのエッセイ練習

▼カタチが面白い劇



P6

熊谷有芳のすこやかエッセイ『ヘルシーボーキュー！』

▼パーソナルカラー診断



P8

ゼニ王子(塩原俊之)



P11

矢吹・富坂・浅越の

シチュエーションコメディレクトリ



P14

なにを書くかが問題小説(浅越岳人)

▼『キックアウト・マイダッド』#5



P16

榎並夕起のアイスダイアリー

▼ヨーグレット アイsshャーベット



P18

つわまん。(津和野諒)



P19

アガリスク情報発信局

富坂の

売れた目のためのエッセイ練習

(38) カタチが面白い劇

アガリスクの新作公演『SHINE SHOW!』、ただいま絶賛稽古中である。いやまあ正確にいうと稽古段階では誰かに絶賛されることはないんだけど、それを自覚した上で「絶賛」とか言いたくなるくらいどんどん作っている。

この作品は一つの密室という意味でのワンシチュエーションではなく、色々な場面を飛ばし飛ばしに描いていく劇で、広めの舞台を細かいエリアで区切って、短いシーンを早く切り替えながら進行する。そんなの普通じゃん、って思う方もいるかもしれないけど、僕の中ではこっちの方が珍しい。一つの場所にどんどん情報が持ち込まれて積み上がっていく、シチュエーションコメディを入口に演劇を始めた身としては、照明を素早く切り替えたり、人の出八ヶを整理するだけで、「わ！　なんか大劇場の演出みたい！」と思ってしまう。今回の舞台面も劇場も、小劇場としては大きい方だけど、決して大劇場と呼ばれるサイズではない。なのに、この作品を稽古しながら見ていると何故だか大劇場のショーっぽい舞台のような気がしてしまう。チラシやロゴのショウビズ感、ブロードウェイ感に引っ張られているからだろうか、いや、多分それだけじゃないと思うんだけど。

そんな中で、実は別の仕事を並行しながらこの作品の稽古をしまして。実は最近、某バラエティ番組の放送作家業をしてます。も

売れた日のためのエッセイ練習

とは演劇とかドラマの流れで知り合った方から声をかけてもらって始まったんだけど、気付いたらゴリゴリにバラエティのディレクターさんとかベテランの放送作家さんと一緒に定例会議をしていて、なんとも不思議な感覚。

そんな中、今日の会議で、ベテランの作家さんが「じゃあいっそ『笑の大学』みたいにこのやりとりをそのまま番組にしちゃうってどうですか？（笑）」と発言していた。そう、三谷幸喜『笑の大学』が、バラエティ番組の定例会議の場で、常識的な例えとして共有されていたのだ。それも「検閲する」という設定の部分だけじゃなくて、「会議をしては持ち帰る、それを何往復も繰り返す」という作品の構成の部分までもが当たり前のように共有されていたのに、すこし驚いてしまった。そりゃ三谷幸喜氏はテレビの脚本家としても日本一くらい有名だし、『笑の大学』も映画化された作品だから、テレビ業界の人が知っていても不思議じゃない。にしても、作品のカタチについての例えとしてサラッと言及されて、それを皆が理解して笑っているのにプチ感動を覚えたのだ。

それと同時に、例えとして出されるくらい特徴的なカタチを持っている作品って強いな、と思った。もちろん作品としての評価や知名度がなければ誰かの話題に上ることはないけど、「この作品はこういうスタイルの劇」というのが一言で言い現せる作品っていいなあ…という思いを新たにした。

SHINE SHOW! は派手でてんこ盛りで面白いけど既存のジャンルのミックスの劇なので（それは構想時点からそう狙ってたからいいんだけど）、次はそういった「面白い劇構造」（それもシ

売れた日のためのエッセイ練習

ンプルで強固なやつ) を作りたいなあ…という野望も首をもたげてきた。先日発表された複数団体のショーケースイベント・視点『SHARE'S』(来年の3月に座・高円寺でやります)で試そうかしら。



Aug. 15th 2022

#38 パーソナルカラー診断

念願のパーソナルカラー診断と骨格診断に行きました。劇団員のゆきちゃんと一緒に。わたしは青や水色が好きで、私服や衣装でよく着ている。似合うと思っただから、ブルベだと半ば期待していた。

🐼 **ざっく解説**

パーソナルカラーとは、もともと肌や瞳の色にもとづいた「似合う色のこと」。

ブルベ(ブルーベーズ)

青みがかった肌。
サマー・ウインターがある

イエベ(イエローベーズ)

黄みがかった肌。
スプリング・オートムがある

まずはアンケートに記入して、問診。どんなタイプの服が好きか、なにかさそくカラードレープ(診断用の布)をあてて、どの色が似合うかを見ていく。たとえば同じ青でもくすんだ青、ハッキリした青、系統っぽく青、などのバリエーションがある。多様な色を合わせていく中で、「この色は顔色が良く見えますね」「この色は血色悪く見えますね」などとコメントされていく。そういうものだと分かる。でも、誰かに「顔色が悪い」と言われるのはなんだか悲しい気持ちになる。コンサルメントのMIHOさんモットーなので遠慮はない。



結果は「紅ベ秋」だった。いかにも秋、ほい色が似合う人だ。

茶色やボルドーやマスタードな色。... それはわたしが最も着ない色だ。正直に言ってその時はショックでした。そんな服持たないし、好きな青系も昔々のこと。しかし同じ「紅ベ」秋の有名人の名を聞いてテンションが上がった。カッコイイ美人が99%。

その場で似合う化粧品を教わってくれ、メイクをするこもできる。SUQQUのシャドウにYSLのリップ、CLINIQUEのチーク... ほんとに不足しなさんだよね。ニライの。(SUQQUはカラバシ豊富で何か買いたくなると目論見中... 〇〇) 普段使わない高い化粧品を使ってテンションが上がって、普段より大人、ほい熊谷になった。

ついに新しいチークを買う。さすがニライ。さらに後日、「THE 紅ベ秋」な服を買う。5着で6000円くらい。買い物上手だねお〜?



それから洋服やメイクに興味津々で物欲がすごい。すごい高売だぜ、ハロビフルカラー言ひ進行。新しい自分が見えすぎて楽しいぞお。おすすめ!



ゼニ 王子

塩原
俊之



Aga-Zine文庫

2.15

コーチ以外の間人がベンチ外に出てくる。

この異例の事態に球場のザワつきは大きくなっていった。

沢田のヤロー。どういうつもりでヤンス。

遅延行為とも取られかねない珍事に審判団もミー達の元にゆっくり集まり出す。

「警告を喰らったらお前のせいでヤンスよ」

「そうだ千早。パテレ行きを狙うにしてはトリッキー過ぎるぞ」

チッと小さく舌打ちをしたあと、その大きな手で口元を隠しながらイラつくように呟いた。

「いつまで寝てんスカ」

「は？いやいや今日はアーリーに間に合っ」

「起きて無いんスよ。手首」

「ホゲ？」

「寝てんスよ。最近ずっと。手首起こさないと。

ノビねえスよ」

ハッとした表情の峯岸が早口で迫ってくる。

「そうか！そうです、斎藤さん！手首が寝てるんですよ！」

このコーナーでは、矢吹ジャンプ・富坂友・浅越岳人が、ここ2週間ほどの間に見たコメディ作品についてレビューしていきます。

矢吹ジャンプ



『スパイダーマン:ノー・ウェイ・ホーム』(洋画)

2021年公開。MCUのスパイダーマン3作目ですね。前作ラストでミスチリオの策略により正体を明かされ、ミスチリオ殺害の容疑をきせられたピーター。その直後からスタート。不起訴で解放されたけど恋人や親友まで巻き込んだ騒動に追い詰められドクターストレンジに助けを求めたピーターは全ての人からスパイダーマン=ピーターの記憶を消す提案を受ける。しかし呪文の途中でピーターが口出したせいで失敗。それにより並行世界のヴィランが現れてしまう...という流れね。ヴィランだけでなく並行世界のピーターも現れ3人のスパイダーマンが共闘する、というのが熱いですね。諸々の権利や枠を越え、旧スパイダーマン三部作やアメィジング・スパイダーマンシリーズから本役のキャストが続投しているのがすごい。そしてMCUのスパイダーマンとしてはアベンジャーズ最年少で精神的な未熟さを抱えつつ、たくさん辛い目にあってきたピーターがまた大きな悲しみを背負い、それでも親愛なる隣人として生きていく、という一つの結末を向かえた感じね。面白かった



『HIDEMI ～呪いと祝福の子～』(演劇)

果たしてこれをコンテンツとして取り上げて良いのだろうか？ という気もするけど、今年一番面白い演劇だったので紹介せざるを得ない。まあ、もう今後見られる機会はないのだけど。

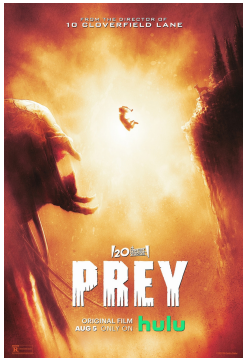
アガリスク作品にも出てもらったことのある女優・星秀美さんの結婚パーティーの余興として guizillen という劇団が上演した新郎新婦の馴れ初め演劇。新郎と新婦がどうやって育ち、どうやって出会い、どう結婚の誓いを立てて今日に至ったのか、を guizillenらしい無茶なデフォルメとユーモアたっぷりに描くフィクション(だよな？いや、詳しくは知らないけど絶対フィクションのはず)。

ギャグ漫画のようなどうかしているリアリティで脚色しながらも、新郎新婦やその周囲の人間(ファンまでも)に対する目線の優しさが印象的。また、壮大な展開を無理やり人力のパフォーマンスで表現する様が笑えて、胸を打つ。

今回は観客が新郎新婦の友人知人だったから、皆が登場人物に肩入れして見ていた、という前提はあるかもしれないけど、それにしても面白い演目だったし、自分にはできないスタイルの演劇でちょっと嫉妬してしまった。

そして何より、誰かを祝うために物語を演じるということ、人が演じることで滑稽になったり、人が演じることで胸を打つということ含めて、これこそが原始の演劇で、演劇の根元なんじゃないか？ と思っ

浅越岳人



『プレデター:ザ・プレイ』(映画)

ちよつともろもろ仕事が重なって、まともに観られた作品がこれくらい(観てんじゃねえか)だったので、非コメディですがご勘弁を。

「プレデターVSコマンチ族の女狩人」「『プレデター』×通過儀礼(イニシエーション)」って設定、そしてそれのみを突き詰めた姿勢の勝利。大勝利。こういう言い方はアレだけど、「ぼくの観たいプレデター」でした。

近作で急速に「ツンデレ化」したプレデター(『AVP』とかね)というキャラクターをあくまで脅威として、「誇り高きモンスター」として描く原点回帰と、バトルアクションとしての緊張感を失わずに「勝ちの必然(なぜ勝てたか?の明確化。主人公補正や理由なき覚醒へのアンチ)」を見せる作劇。ヤバいモンスターを手持ちの技術と知恵で攻略していく、って最高よね。

また、当時のアメリカンインディアン境遇を無視せず、しかし全体のトーンを邪魔せずに盛り込むシーンには唸らされた。

シリーズファンとしては、コミックでは幾度か描かれてきた「時代物×プレデター」が、実写映画で実現・成功したことが本当にうれしい。

Tシャツのプリントは、着ている人間の趣味嗜好とは無関係である。

この至極当たり前だが、重要な真理に到達するまでの道に至るには、ときとして多大な犠牲を伴う。詳細を述べることは避けるが、中学での「MARVEL事件」、高校時代の「METALLICA事件」などを乗り越えることで、その教えはおれのなかに鈍い痛みとともに、しっかりと刻み込まれた。

が、逆の立場になってみるとわかる。「仲間を見つけた」という期待で眼を輝かせた者に「自分は違うよ」と告げる方も、それなりの痛みを伴うのだ。「裏切ってしまった」という罪悪感も、孤独と同じくらい嫌なものである。そもそも、裏切るもなにも最初から仲間ではないから、どうしようもないのだが。

興田はあの学内一の不味さで有名なカレーをためらいなく注文した。事情を知らないのか、それとも味覚がおかしいのか。おれはしかしそのことには触れずに、唐揚げ丼を頼むと、ランチタイムでも一向に込む気配がない食堂の、かろうじて明るい窓際の席で知り合ったばかりのプロレスファンと向かい合った。

「うらやましいよ、身近にファンがいるのは」

道すがらおれの話聞いた興田はそう言った。中学・高校、そして大学とまったく共通の趣味を持つ友人を見つけれず、そんななかおれのTシャツを見て思わず声をかけた、という、予想通りである。しかし「うらやましい」と言われてもおれは別にプロレスが好きではないのだから、母親がファンだろうがなんだろうがまったく関係がない。むしろ少

し迷惑、まではいかなくとも困惑しているくらいだ。ましてや旧福島家離散の原因がプロレスにあると言えなくもないわけで、そのあたりの複雑な事情は、さすがに初対面の間には話しづらい。とりあえず中途半端な相槌で返してしまおう。

「森くんはプロレス観ないの？」

「観ないね、今は」

「前は観てた？」

しまった。わざわざ時勢を限定する必要はないじゃないか。

「子どもの頃はね。今は全然」

「まあ、そういうものかもね」

興田はそれ以上は触れなかった。成長するにしたがって自然に距離ができる「そういうもの」として捉えてくれたらしい。レスラーの父に殴られたことで両親が離婚し、それが原因で今でも忌避感がある、なんてことを上手く説明できる気はしないし、かといって嘘をついたり誤魔化したりするのも嫌なので、興田の勝手な納得は非常に助かった。

少し会話が途切れたタイミングを見計らって、おれは唐揚げを口に運ぶ。この唐揚げ丼というやつ、たしかに唐揚げと白米は非常に合うと思うが、牛丼や親子丼の具と違って、唐揚げのサイズ感では一口でご飯と同時に味わうことができない。これはそもそもコンセプト上の失敗なのではないか？

「このカレー、なんか変じゃない？」

少なくとも味覚については、興田と気が合いそうで安心した。(つづく)

榎並夕起 の ICE DIARY

第 33 回「ヨーグレット アイsshャーベツト」



Meiji の「ヨーグレット アイsshャーベツト」

2022 年 8 月 12 日 16 時 45 分に食べた。

小さいころ好きだったヨーグレットのアイスだ！と思って買いました。

最近コンビニよりスーパーの方が掘り出し物が多い気がする。

ヨーグレットも好きだしヨーグルト系のアイスも好きなのでとても好みの組み合わせ。

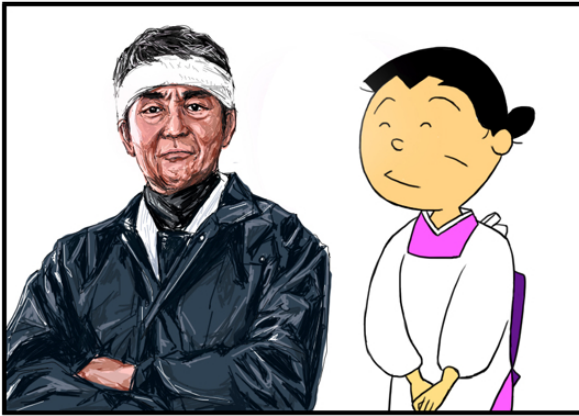
さわやかで食べやすいしシャーベットってところがポイント高め。食べやすいです。絶妙な甘酸っぱさ。そしてまさにあのヨーグレットの味がします。なつかしい。

しかも！中にラムネが入っているんですね。ラムネの食感もなめらかなシャーベットのアクセントになっていて美味しい。

評価は★4。味のなつかしさ×食べやすさが良かったです。最近とても暑いですからね。さわやかな気持ちになれるアイスがおすすめです。ハイレモンとかコーラパンチのアイスもあるのかな。ハイレモンのアイス、今の時期にぴったりだと思うんだよね。中にレモン風味のラムネ入れたら絶対美味しいじゃんね。と思って調べたらアイスバーがあるようです。見つけたい。

つわ

渡にフネ



まん。

アガリスク情報発信局

アガリスクの最新情報をまとめてお届けします！



▼第29回本公演 『SHINE SHOW!』

8月31日(水)~9月4日(日) / シアター・アルファ東京(恵比寿)

▽タイムテーブル▽

8/31 (水)	9/1 (木)	9/2 (金)	9/3 (土)	9/4 (日)
	14:00	14:00	13:00	12:00
19:00	19:00	19:00	18:00	17:00



▽チケット発売中! ▽

富豪席(事前精算)…8,000円

ご希望のお席を自由にお選び頂けます。

ご希望キャストのオリジナル社員証 / ご希望
キャストサイン入りブロマイド / 全キャスト集
合舞台写真つき。

一般席(全席指定 / 当日精算)……………4,500円

大貧民席(全席指定 / 当日精算)……………3,000円

見切れ席、後方席など見づらいお席の可能性があります。

高校生以下(全席指定 / 当日精算)…1,000円

貧民割引……………500円引き(当日受付にて「貧民です」と自己申告
して頂くと500円割引いたします)

リピーター割引…1,000円引き(半券をお持ちいただくと1,000円割引
いたします)

サラリーマンが

1日だけ歌手になる夢の舞台の裏側も表側も描く、群像歌謡シチュ
エーションコメディ！

▽Vlog始めました！▽

『SHINE SHOW!』のメイキング

顔合わせ、ビジュアル撮影、稽古風景などを動画でお届け！

【STAGE】

▼伊藤出演！青春事情第22回公演

『NO GOAL-HOMELESS WORLDCUP-2022 ver.』

9月30日(金)～10月4日(火) / 下北沢 駅前劇場

▽タイムテーブル▽

9/30 (金)	10/1 (土)	10/2 (日)	10/3 (月)	10/4 (火)
	14:00	14:00	19:00	19:00
19:00	18:00			



▽チケット▽

8月27日(土)AM10:00より発売

<前売・当日共通/自由席/税込>

一般 3,800円

学生 2,800円 (要学生証提示)

特別先行割引 3,300円

(9月3日(土)までにご購入・ご予約の場合)

ロッカールームを舞台に、実在するホームレスワールドカップ日本代表「野武士ジャパン」をモチーフに描いた過去作を、満を持してここに再演！

▼アガリスクエンターテイメントが参加します！

日本劇作家協会プログラム 座・高円寺 春の劇場29

視点『SHARE'S』

2023年3月15日(水)～3月21日(日) / 座・高円寺1

多数のカンパニーが参加するこちらの企画で60分の作品を上演します。続報をお待ちください！

【OTHERS】

▼富坂・熊谷出演！

『依乃王里とギジレンの 場末のスナックみてえだな』

8月22日(月)・29日(月)22:00~/[FM89.2 SKYWAVE FM](#)

千葉県千葉市中央区とその周辺にお住まいの方はラジオの周波数をFM89.2に、その他の地域の方は[こちらからお聴き頂けます！](#)

▼アガリスクRADIO企画モリエンテスラジオ

ON AIR アガリスクRADIO
モリエンテスラジオ

熊谷有芳の『[Root For BASEBALL！](#)』



千葉ロッテマリーンズ愛が炸裂する
球道一直線ラジオ。

ON AIR アガリスクRADIO
モリエンテスラジオ

鹿島ゆきこの



『[ZERO1 女子のかしましらじお。](#)』

小劇場の片隅でプロレスリングZERO1を勝手に応援しているラジオです。(鹿島・浅越出演)。

▼矢吹・富坂・浅越出演！

『[矢吹・富坂・浅越のシチュエーションコメディスカッション](#)』

演劇について、コメディについて、最近思っていることをわりと遠慮せずに喋る配信番組。

▼塩原出演！『[塩原俊之のシコメン!!20-21](#)』

塩原俊之が、演劇仲間(熊谷・浅越)と共に様々なカルチャー、出来事について話すポッドキャストです。

▼前田出演！『[ボツネタラジオ](#)』

大阪出身ハガキ職人世田谷のやせがたさんと、ハガキ職人によるハガキ職人のためのラジオ。メッセージはbotunetaradio@gmail.comまで！毎月第2水曜日更新です。[ポッドキャスト](#)もあります。

▼富坂脚本！YouTubeチャンネル「主役は我々だ！」ショートアニメ『パトロール中見つけた奴が忍者だった件』

人気YouTubeチャンネル「主役は我々だ！」内のショートアニメの脚本を担当しました。

【SPECIAL】

▼短編動画配信『4カットコントマーケット』

4カットコントマーケット、略して『4コマ』は、4カットだけで構成した短編コント動画シリーズです。[アガリスク公式YouTubeチャンネル](#)にて公開中！

4カット
コント
マーケット

【GOODS/STREAMING】

▼第28回本公演

『かげきはたちのいるところ』

・[Blu-ray](#)……7000円

舞台版・ドラマ版・ドキュメンタリーに
コメントも収録の豪華3枚組！

[予告編はこちら！](#)

[アガリスクSHOP](#)では他にも多数のグッズを
取り揃えております。

過去作品のDVDも充実！

▼観劇三昧で過去作品配信中！

[観劇三昧](#)では、かげきは舞台版・ドラマ版のほか、過去の上演作品も配信中です！



次号は9月1日木曜日発行予定です。お楽しみに！